

Media Contact:

荒井・金原

pr-jp@blackmagicdesign.com

Tel: (03) 5465 2101

「スニーキー・ピート」、DaVinci Resolve Studioでカラーコレクション

2019年9月30日 - Blackmagic Designはこの日、Amazon Prime Videoで好評を博しているドラマシリーズ、「スニーキー・ピート」のシーズン3が、Level 3 (Duluxe) に属するシニアカラリスト、スコット・オストロスキー (Scott Ostrowsky) 氏により、DaVinci Resolve Studioでカラーグレーディングされたことを発表した。

カラリストとして25年の経験を持つベテラン、オストロスキー氏は、これまでに「LOST」、「THE BLACKLIST/ブラックリスト」、「HEROES」、「エレクトリック・ドリームズ」などの人気番組を手がけてきた。同氏は、「スニーキー・ピート」のシーズン1からカラーコレクションを担当。ジョヴァンニ・リビシ演じる詐欺師、マリウス・ジョシボヴィックが繰り広げる同ドラマのルックを作り上げてきた。

刑務所から釈放された詐欺師マリウスは、自身の過去と、彼を追うギャングから逃れるため、刑務所仲間であったピート・マーフィーの名を騙る。デイヴィッド・ショア (David Shore)、ブライアン・克蘭ストン (Bryan Cranston) 両氏による制作の「スニーキー・ピート」は、多様なスタイルを持つ異色の犯罪ドラマであり、オストロスキー氏とカメラマンたちは慎重に共同作業を進める必要があった。

シーズン2でDaVinci Resolveを使い始めたオストロスキー氏は、撮影監督のフランク・デマルコ (Frank DeMarco) 氏とウィリアム・レクサー (William Rexer) 氏と緊密に協力し合い、2つのスタイルをプロジェクトの全体的なルックに適用した。「二人とも、光と影、そしてリッチでドラマチックな雰囲気撮影環境に取り入れていました。」オストロスキー氏は語る。「その現場の雰囲気と、それがストーリーにもたらす影響を考慮してルックを作成しました。」

撮影場所は、凝った装飾のバスルーム、海岸沿い、倉庫など多岐に渡り、独自の「銀残し」ルックが採用された。ディテールを保ちつつリッチなブラックを得るために、オストロスキー氏は特定のLUTを使用。これにより、すべてのテクスチャーを残したまま、鮮やかなルックを作成できた。

シーズン3では、撮影監督がアーサー・アルバート (Arthur Albert) 氏にバトンタッチされ、現場も東海岸からカリフォルニアへと移動した。これによりスタイルも新しくなり、暖かく明るいルックに変化した。オストロスキー氏は以前、「THE BLACKLIST/ブラックリスト」でアルバート撮影監督と仕事をしていたため、彼の撮影と照明の好みを把握していた。「彼のスタイルは、『ブラックリスト』で描かれたような美しく明確なスタイルです。今回の作品もこれに倣おうと思いました。」オストロスキー氏は続ける。「アルバート撮影監督の、環境に対する実在主義的な観点を取り入れ、それをカラーで表現しました。」

2つのシーズンを通じて、オストロスキー氏はカラーコレクションにDaVinci Resolveとそのツールセットを使用した。「すべてのツールを使用しましたよ。特定の部分にフォーカスする必要がある場合は、キー、ウィンドウ、ログモードなどを使用しました。」オストロスキー氏は続ける。特定のシーンのニュアンスや、アルバート撮影監督のテイストと照明に応じた、陰影のある雰囲気を作りあげするために、DaVinci Resolveのあらゆるツールを駆使しました。」

3つのシーズンはそれぞれ異なるルックになっているが、オストロスキー氏はその変化を楽しんでいるという。「開始当初は、テクスチャーと存在感のある暖かい雰囲気を作成しました。そこからハイパーリアルとも言える雰囲気に移りましたが、それは大量のカラーを用いた自然なスタイルのハイパーリアルでした。そしてシーズン3では、アルバート撮影監督は光と影、そしてテクスチャーを重視して、絵画的な美しさを持つイメージを作成しています。」

ニューヨークからカリフォルニアへ制作現場が移動したことで、ルックもざらついたリアリズムから軽やかで暖かいものに変化したため、それに伴いカラーへのアプローチも変化した。これはオストロスキー氏が歓迎した挑戦である。「カラーグレーディングに対する私のアプローチは、カメラマンが作成したルックを、彼らの領域に踏み込まずに再表現することです。彼らと一緒に、ストーリーを補強するルックを作り上げることは楽しい作業ですね。そのための鍵は、コミュニケーションですね。」オストロスキー氏は最後こう結んだ。

フォト

DaVinci Resolve studioおよび他のBlackmagic Design製品の写真はこちら
www.blackmagicdesign.com/jp/media/images

会社概要

Blackmagic Designは、映画、ポストプロダクション、放送業界に向けて世界最先端のビデオ編集製品、デジタルフィルムカメラ、カラーコレクター、ビデオコンバーター、ビデオモニタリング、ルーター、ライブプロダクションスイッチャー、ディスクレコーダー、波形モニター、リアルタイム・フィルムスキャナーを開発している。Blackmagic DesignのDeckLinkキャプチャーカードは、その品質と価格で放送業界に革命をもたらした。また、エミー™ 賞を受賞したDaVinciカラーコレクションシステムは、1984年以降、テレビ、映画業界の中心となっている。Blackmagic Designは、現在も6G-SDI、12G-SDI製品、ステレオスコピック3D、Ultra HDワークフローなどの独創的な革新を続けている。世界をリードするポストプロダクションエディターやエンジニアにより設立されたBlackmagic Designは、現在アメリカ合衆国、イギリス、日本、シンガポール、そしてオーストラリアにオフィスを構えている。詳細は
www.blackmagicdesign.com/jp